

**工業用水道事業会計**  
令和2年度和歌山県工業用水道事業会計補正予算実施計画

収益的収入及び支出  
支 出

款	項	目	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計	備 考
1工業用水道事業費用	1 営 業 費 用		千円 837,945	千円 △19,007	千円 818,938	
			749,129	△19,007	730,122	
		3管理センター費	141,528	△10,392	131,136	給料 手当 法定福利費
		5一般管理費	114,719	△8,615	106,104	給料 手当 法定福利費
						△2,787 △5,292 △2,313  △3,150 △3,967 △1,498

資本的収入及び支出  
収 入

款	項	目	既 決 予 定 額	補 正 予 定 額	計	備 考
1資本的収入	2国庫補助金		千円 2,521	千円 11,200	千円 13,721	
			—	11,200	11,200	
		1国庫補助金	—	11,200	11,200	

## 令和2年度和歌山県工業用水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

千円

## 1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益	24,421
減価償却費	194,226
退職給付引当金の減少	△12,569
賞与引当金の増加	153
その他の引当金の増加	8
長期前受金戻入額	△32,562
受取利息及び受取配当金	△1,902
支払利息	1,000
未収金の増加	△32,790
未払金の増加	100,270
雑流動負債の増加	<u>3,114</u>
小計	243,369
利息及び受取配当額	1,902
利息の支払額	<u>△1,000</u>
業務活動によるキャッシュ・フロー	244,271

## 2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△584,290
国庫補助金等による収入	<u>11,200</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△573,090

資 金 增 減 額  
資 金 期 首 殘 高  
資 金 期 末 殘 高

△328,819

2,942,248

2,613,429

令和2年度和歌山県工業用水道事業予定貸借対照表

(令和3年3月31日)

千円

千円

千円

千円

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有 形 固 定 資 産

10,789,827

減 価 償 却 累 計 額

△6,309,440

有 形 固 定 資 産 合 計

4,480,387

(2) 無 形 固 定 資 産

無 形 固 定 資 産 合 計

1,154

(3) 投 資 そ の 他 の 資 産

長 期 貸 付 金

1,500,000

投 資 そ の 他 の 資 産 合 計

1,500,000

固 定 資 産 合 計

5,981,541

2 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金

2,613,429

(2) 未 収 金

205,000

(3) 貯 蔵 品

1,063

流 動 資 産 合 計

2,819,492

資 産 合 計

8,801,033

負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1) 引 当 金

181,205

固定負債合計			181,205
4 流動負債			
(1) 未払金		166,000	
(2) 引当金		15,528	
(3) 雑流動負債		<u>3,756</u>	
流動負債合計			185,284
5 繰延収益			
(1) 長期前受金		2,229,783	
長期前受金収益化累計額		<u>△1,586,483</u>	
繰延収益合計			<u>643,300</u>
負債合計			<u><u>1,009,789</u></u>
	資本の部		
6 資本金			
(1) 資本金			
イ 固有資本金	163,544		
ロ 組入資本金	<u>4,539,756</u>	<u>4,703,300</u>	
資本金合計			4,703,300
7 剰余金			
(1) 資本金剰余金			
イ 受贈財産評価額	147,572		
ロ 国庫補助金	54,445		
ハ その他資本剰余金	<u>157,842</u>		
資本剰余金合計		359,859	

(2) 利益剰余金			
イ 利益積立金	155,800		
ロ 建設改良積立金	2,327,864		
ハ 当年度未処分利益剰余金	144,421		
ニ 過年度未処分利益剰余金	<u>100,000</u>		
利益剰余金合計		<u>2,728,085</u>	
剰余金合計			<u>3,087,944</u>
資本金合計			<u>7,791,244</u>
負債資本合計			<u><u>8,801,033</u></u>

## 注 記

### I. 重要な会計方針に関する注記

#### 1 資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 先入先出法による原価法によっている。

#### 2 固定資産の減価償却の方法

##### (1) 有形固定資産

###### ・減価償却の方法

定額法による。

###### ・主な耐用年数

建 物 8～50年

構 築 物 10～60年

機械及び装置 2～22年

工具器具及び備品 5～15年

車 両 6年

##### (2) 無形固定資産

###### ・減価償却の方法

定額法による。

#### 3 引当金の計上方法

##### (1) 退職給付引当金

職員の退職手当に備えるため、当年度の退職手当の期末要支給額に相当する額を計上している。

##### (2) 賞与引当金

職員の期末・勤勉手当及び法定福利費の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4ヶ月分）を計上している。

## (3) 貸倒引当金

貸倒実績がないため、計上していない。

## 4 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

## II. 予定キャッシュフロー計算書等に関する注記

該当なし。

## III. セグメント情報に関する注記

## 1 報告セグメントの概要

和歌山県工業用水道事業会計は、有田川第1事業所、有田川第3事業所及び紀の川第2事業所の3つの事業所を運営しており、各事業所で運営方針等を決定していることから、有田川第1事業所、有田川第3事業所及び紀の川第2事業所の3つを報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容は次のとおりである。

事業区分	事業の内容
有田川第1事業所	工業用水道給水
有田川第3事業所	工業用水道給水
紀の川第2事業所	工業用水道給水

## 2 報告セグメントごとの営業収益等

当年度（自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日）

（単位：千円）

	有田川第1事業所	有田川第3事業所	紀の川第2事業所	合計
セグメント資産	1,582,000	4,434,770	2,784,263	8,801,033
セグメント負債	121,004	472,738	416,047	1,009,789
その他の項目				
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	259,812	126,811	197,659	584,282

IV. 減損損失に関する注記

該当なし。

V. リース契約により使用する固定資産に関する注記

該当なし。

VI. 重要な後発事象に関する注記

該当なし。

VII. その他の注記

該当なし。